

2022年9月1日

私立大学図書館協会西地区部会
東海地区協議会加盟館 御中

私立大学図書館協会西地区部会
東海地区協議会研究会運営委員長校
椋山女学園大学図書館
図書館長 佐藤 厚子
(公印省略)

2022年度私立大学図書館協会西地区部会東海地区協議会
研究会の開催について(ご案内)

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

2022年度研究会を下記のとおり開催いたしますので、ご案内申し上げます。参加申し込みは下記参加申込方法で、回答をお願いいたします。

ご多忙中のことと存じますが、多数のご参加をお待ちしております。
どうぞよろしく願い申し上げます。

敬具

記

日 時 2022年10月20日(木) 14時～16時45分

会 場 名城大学ナゴヤドーム前キャンパス レセプションホール
Zoom ウェビナー形式 ハイブリット開催
※対面での参加は、1大学につき1名までとし、その他はオンラインにてご参加
ください。
※Zoom ウェビナー参加 URL については、申込者の方にお知らせします。

対 象 加盟館に勤務する図書館職員(派遣・委託等を含む)

参加申込 次の申込フォームから各自で申し込みをお願いします(参加費無料)
※1つのアカウントを利用し、複数名で視聴される場合も参加者数把握のため、
各自でお申込みください。

【申込フォーム URL】 <https://forms.gle/aMZEfvRyJhKSnsFc6>

【申込締切】 2022年9月16日(金)

連絡先 名城大学附属図書館 担当:川村
E-mail: tokai-kenkyu-ml@jaspul.org
TEL: 052-832-1151 (内線 6510)

2022 年度私立大学図書館協会西地区部会東海地区協議会
研究会スケジュール

2022 年度研究会テーマ：図書館員のためのカビ・ムシ被害への対策

2020 年初頭から始まった新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、図書館は臨時休館や利用制限等の非常時対応を余儀なくされた。その一方で、この間、電子資料の利用環境の整備が急速に進み、その購入予算も飛躍的に増加した。

しかしながら、図書館の利用資料の大部分を占めているのは依然として印刷資料であり、コロナ禍において長期の休館や換気など、所蔵資料の保管環境は大きく変化している。

非来館型サービスに移りがちなこの時期だからこそ、資料を適切な状態で保管し、後世に伝えるという図書館員の使命に立ち返ることが必要ではないだろうか。

本年度の研究会では、資料保存におけるカビ・ムシ被害への対策をテーマとしてとりあげ、各館の問題意識の共有を図るとともに、図書館運営にかかる有益な知識の習得を図りたい。

13 : 40～	Zoom ウェビナー入室開始
14 : 00～14 : 10	開会挨拶
14 : 10～15 : 40	講演：「名城大学の事例報告」 講師：川村 信一 氏（名城大学附属図書館情報管理課課長）
14 : 40～15 : 30	講演：「事例から読み解くカビ被害の予防と対策」 （図書点検・クリーニングの実践）」 講師：井上 桃子 氏 （株式会社明治クリックス文化財 IPM 事業部課長）
15 : 30～15 : 40	休憩
15 : 40～16 : 30	実践
16 : 30～16 : 45	質疑応答
16 : 45～	閉会
現場見学（自由）	

【研究会講師の紹介】

川村 信一 氏（名城大学附属図書館情報管理課課長）

2020 年度より現職。2009 年入職～2014 年まで入学センター、2014 年～2020 年まで経営本部施設部、現在主に図書館運営の業務に携わる。

井上 桃子 氏（株式会社明治クリックス文化財 IPM 事業部課長）

文化財 IPM（Integrated Pest Management）の考え方を軸とし、大学図書館・美術館等を対象に、カビ・ムシ対策を中心とした文化財保存のコンサルティングから環境調査、燻蒸処理までトータルサポートしている。

学芸員・文化財虫菌害防除作業主任者・文化財 IPM コーディネータ等の資格を保有。